

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所



第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

第1702回例会 令和7年9月11日(木)

【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。お配りした資料は、米山梅吉のロータリー役職の推移です。この順番に話していこうと思っています。

米山は、東京ロータリークラブが大正9年10月20日設立されると、その会長に就任した。幹事は、ダラスでの邂逅の相手、福島喜三次である。ただ、福島は、第1回、第2回の例会に出席した後、三井物産大阪支店に転勤し、退会した。退会したけれども1922年大阪ロータリークラブの幹事をやっています。



例会は、毎月第2水曜日、昼の12時30分から午後2時までであった。創立総会后、第1回は、大正9年11月10日、年末年始の休会があり、第2回は大正10年2月9日であった。第1回の例会には、24名中17人の出席、第2回の例会には、ジョンストンを含め19人であった。

役員の任期は、変則で、4月からだった。大正10年4月から、米山が会長に重任された。副会長は宮岡恒次郎(みやおかつねじろう)で、幹事は三神敬長(みかみ けいちょう)であった。その翌年の大正11年4月から会長は、宮岡であった。したがって、米山は、2期というけれど、大正9年10月20日から大正11年3月31日までの1年半の会長であった。

東京クラブのできた頃、ロータリーの規則は、必ずしも週1回の例会ということではなかった(週1回となったのは、1922年(大正11)6月のロサンゼルスにおける年次大会から)。東京クラブでは、月1回の例会であった。これは、その後規則が変わってもこの月1回の例会が関東大震災の後まで続いた。創立直後で、会員間では、定款、細則に関心が薄かった。不慣れで、欠席がちであったり、会員も錚々たる人達で、いくら米山に言われたからといって、とてもおいそれと言うことを聞くようなことではなかった。口うるさく言う米山が煙たがられがちであった。

会員数は、大正11年には33名となり、その年の終わりには49名、大正12年半ばには53名となった。しかし、会員の出席率はよくなかった。英文『歴史』では、大正12年4月の例会では、55%の出席率で、会長、副会長も欠席であったと記されている。ちなみに、大正10年8月

10日の例会で、相馬半治と増田義一がイニシエイトリイ(initiatory)スピーチをしたという記載がある。現在のロータリークラブで、新しく入った会員が入会后間もなく、イニシエーションスピーチを行うのが習わしになっている。これが記録のうえで見る最初のものであろう。一方では、米山自身もロータリーの内容がそれほどわかってはいなかったと思われる。暗中模索ということであったのかもしれない。それでも米山であるから空中分解することもなく、なんとか求心性を保っていた。

【幹事報告】

山田 利明



1. 地区事務所よりポリオ根絶活動エピソード大募集について
2. 秩父手をつなぐ育成会チャリティー天満敦子コンサート後援についてお礼

【理事役員会議】

9月	4	木	休会	
	11	木	通常例会	理事役員会
	18	木	休会	
	25	木	ガバナー補佐訪問	
	30	火	ガバナー公式訪問	於：秩父神社
10月	2	木	休会	
	9	木	通常例会	理事役員会
	16	木	会員卓話	
	23	木	休会	
	30	火	親睦夜間例会	うなぎ東屋

【委員会報告】

1. 社会奉仕委員会担当 板谷 定美会員



先日、国立教育女性会館で開催された社会奉仕セミナーに参加してきました。

内容は、ヤングケアラーのために私たちは何ができるかというセミナーでした。最終的には個人情報等の問題があり、個人では何も出来ないのではないかなという感じがしました。社会福祉協議会とか行政に頼らざるをえないという結論であったかと思います。ただ見守りという事で注意して見ていて、報告だけはしておいたほ

うが いいのかな という 感じ を 受け ました。

出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
8	0	6	0	75.0%



四つのテスト

小笠 和也 会員

8 月 は 皆 野 も 長 瀬 も 賑 や か
で、ロープウェイは 昨 年 の
200 % の 乗 車 率 で、ライン下り
は 昨 年 の 150 % の 乗 船 率 だ っ
た 所 う で す。非 常 に 賑 や か な
夏 だ っ た な と。

長 生 館 も お 陰 様 で、私 は 15
年 前 に 来 た の で す が、私 が 来 て 以 来 最 高 の 売
り 上 げ で し た。利 益 は ま だ 分 か り ま せ ん が。
ロータリーに 入 っ て 4 つ の テ ス ト、仕 事 に 関
し て の 事 で す が、心 が け て 賑 や か な 商 売 を し
て い き た い と 思 っ て お り ま す。



ロータリーの友の音読

ロータリーの友9月号



PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ
（規定記事）

教育を通じた平和

私の RI 会長への就任は、突然かつ予期せぬ形で訪れました。この出来事を通じて、世界は一瞬で変わるものだという事、そんな変化の中でも、ロータリーは常によいことをするために安定した力を持っていることを再認識しました。今月は「基本的教育と識字率向上月間」です。私たちに課せられた使命は明確です。私たちが奉仕する地域で、人類の学びの土台を支えることです。

世界には、文字を読めない人が何百万人もいます。基本的教育を受けられない子どももいます。しかし、私たちはその解決法を知っています。持続可能で、インクルーシブで、公平な教育です。特に女兒と社会から取り残された若者のための教育は重要です。識字とは、単に読み書きができる能力ではありません。人間の尊厳、経済的な自立、平和への鍵となるものです。本を開くこと、教室を設けること、教師を養成すること、その全てが平和の礎となるのです。

今年のロータリーのメッセージは、「よいことのために手を取りあおう」です。「手を取りあう」とは、私たちが互いの中に見いだす強さを表しています。クラブ同士だけでなく、パートナー、組織、地域社会と手を取りあったとき、私たちは参加者の基盤を拡大することができます。これらを継続的に行うことで、永続的な変化をもたらすことができます。ロータリーの奉仕は年次目標だけで測ることはできません。教育分野での私たちの活動は、1 年で終わるものではないのです。識字率向上プロジェクトは、根付き、成長し、実りをもたらすには時間がかかります。

今こそ大胆かつクリエイティブに考える時です。新しい形のクラブは、教育者、学生、支援者を巻き込む新たな方法になります。今月は、教育への情熱を持つ新しい会員を

迎え入れ、既存会員には地域のニーズを反映した奉仕プロジェクトを実施できるよう支援しましょう。図書館の建設、教科書の配布、学生の指導など、どんな行動でも意味ある一歩です。

教育はまた、平和の構築でもあります。私たちが提供する奨学金、支援する幼児教育プログラム、成人向けの識字教室への資金提供は、平和のための活動です。ロータリーは 100 年以上にわたり、このような方法で平和を築いてきました。

識字という課題において、単に「教育の機会を提供する」だけでなく、「教育の公平性」を追求する必要があります。どのような背景にある人でも、学びのチャンスが等しく与えられるべきです。そして、国境、言語、世代を超えて、教育は特権ではなく権利であるということを私たちは一つになって主張することも必要です。

持続的な識字率向上の実現に向けて行動し、よいことのために手を取りあいましょう。全ての子どもが文字を読むことができる世界を夢見て、私たち世界を変える行動人が、この夢を実現するために協力しましょう。

教育の力を活用して、人々の人生を豊かにすることができると。共に、よいことのために手を取りあいましょう。

フランチェスコ・アレツォ
2025-26年度 国際ロータリー（RI）会長